

火山防災協議会等連絡・連携会議(第10回) グループ討論について

◆グループ討論の趣旨とテーマ

- 活動火山対策特別措置法が改正され、各地域で火山防災協議会の設置や、統一的な避難計画の策定などが進んでいる。また、次のステップとして火山防災訓練に取り組んでいる火山地域も多い。
- 一方で、従来から、火山災害は発生頻度が少なく、災害対応経験の蓄積がなかなかできないといった課題がある。また、近年の火山防災対策の推進に携わった火山防災担当者が異動等でいなくなり、検討過程が十分に引き継がれないといった課題が出てきている。
- さらに、火山防災対策は他の災害に比べ専門的な知識が必要となるため、火山専門家との連携が必要である。



そこで、本グループ討論では、、、

火山防災のノウハウの継承

～火山防災に関する経験の蓄積・継承、知識習得・スキルアップ、火山専門家との連携～

をテーマに、火山地域の取組事例や課題を共有、課題解決に向けた方策を議論することにより、課題解決のためのヒントを持ち帰っていただくことを目的に実施する。

◆グループ討論の方法①

<討論の内容>

- テーマについて、以下の2つの視点で「各火山地域での取組や課題」の共有し、「他の火山地域の取組や課題」について意見・質問しながら討論を行う。

視点①: 個人・組織単位での取組

テーマについて、火山防災担当者個人や組織単位で行っている取組について、討論をしていただく。

視点②: 協議会等複数の組織が連携した取組

テーマについて、協議会としての取組や自治体と地方気象台・火山専門家が連携している取組など、複数組織が連携して行っている取組について、討論をしていただく。

<グループ分け>

- 都道府県と市町村、地方気象台、地方整備局など、属性ごとにランダムに振り分けており、1グループ10名(端末)としている。
- また、事務局であらかじめ代表者と記録係を選定している。代表者に討論結果の発表を、記録係に討論の記録をお願いしている。



◆グループ討論の方法②

<ステップ1>

テーマ・視点に基づく「各火山地域の取組」について共有する

<記録様式のイメージ>

<p><u>各火山地域の取組</u> と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	<p>・〇〇市は研修をしている</p> <p>・××県は……</p>
<p><u>各火山地域の課題</u> と対策 と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	

◆グループ討論の方法③

<ステップ2>

「各火山地域の課題と対策」について共有する

<記録様式のイメージ>

<p><u>各火山地域の取組</u> と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	<ul style="list-style-type: none">・〇〇市は研修をしている ・××県は……
<p><u>各火山地域の課題</u> と対策 と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	<ul style="list-style-type: none">・◆◆町、担当職員が少なく、町単独では知識の習得が難しい ・▲▲村は、……

◆グループ討論の方法④

<ステップ3>

ステップ1, 2で出た取組や課題に対する意見・質問をあげる。意見・質問された参加者は、何かしら回答をする。

<記録様式のイメージ>

<p><u>各火山地域の取組</u> と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	<ul style="list-style-type: none">・○○市は研修をしている ⇒講師は職員がしているのか？ ⇒防災担当が行っている ・××県は…… ⇒……
<p><u>各火山地域の課題</u> と対策 と <u>それらに対する</u> <u>意見・質問</u></p>	<ul style="list-style-type: none">・◆◆町、担当職員が少なく、町単独では知識の習得が難しい ⇒火山の専門家を招いて講習会を開いてはどうか ・▲▲村は、…… ⇒……

◆グループ討論の方法⑤

＜グループへの移動と進行方法＞

- 「ブレイクアウトルーム」という機能を使って、各グループに分かれていただく。
- 事務局で表示名をもとに自動的にグループへ移動するよう設定している。事務局がグループを判断できない場合など、自身で指定されたグループへ移動する。
(参照:オンライン会議システム使用の手引き p12)
- 各グループでの発言順は、名簿のお名前五十音順で発言いただき、参加者一巡した後は、自由討論とする。
- 一定時間経過するとグループは自動的に解散となる。残り時間は画面上に表示される。
- 困ったことがあったら、「ヘルプを求める」機能を使って、事務局を呼ぶ。
(参照:オンライン会議システム使用の手引き p15)

【グループ討論のルール】

- ✓ 発言は簡潔に(一人で長々と話さない)
- ✓ 意見は違って当たり前(人の意見を否定しない)
- ✓ 話をつなげ、深めていく(会話のキャッチボールを楽しんで)

＜全体発表の方法＞

- 全体会議に戻った後、司会が発表していただくグループを指定する。
- 指定されたグループの発表者は、討論の内容を簡潔に(2分)発表いただく。
- 発表中記録者の方は、記録したファイルを画面共有していただく。

◆グループ討論のタイムスケジュール

開始	終了	時間	プログラム	備考
15:25	～ 15:30	0:05	グループ討論の進め方、 討論テーマと視点①の説明	進行に関する質疑応答、 グループへの移動を含む
15:30	～ 15:50	0:20	グループに分かれて討論	
15:50	～ 16:00	0:10	発表	全体会議への移動を含む
16:00	～ 16:05	0:05	視点②の説明	進行に関する質疑応答、 グループへの移動を含む
16:05	～ 16:20	0:15	グループに分かれて討論	
16:20	～ 16:30	0:10	発表	全体会議への移動を含む

◆テーマ・視点(再掲)

グループのテーマは、、、

火山防災のノウハウの継承

～火山防災に関する経験の蓄積・継承、知識習得・スキルアップ、火山専門家との連携～

このテーマについて、以下の2つの視点で「各火山地域での取組や課題」の共有し、「他の火山地域の取組や課題」について意見・質問しながら討論を行う。

視点①: 個人・組織単位での取組

テーマについて、火山防災担当者個人や組織単位で行っている取組について、討論をしていただく。

視点②: 協議会等複数の組織が連携した取組

テーマについて、協議会としての取組や自治体と地方気象台・火山専門家が連携している取組など、複数組織が連携して行っている取組について、討論をしていただく。

★参加者の皆様は、取組を紹介したり、他の取組や課題について意見・質問したりと、積極的に意見交換を行いましょ！

★取組紹介の際は、その取組を行うことになった「きっかけ」や「背景」、取組にあたっての「工夫」などがあれば、取組と一緒に発言しましょ！